

先天性の障害を抱える利用者に対する上肢の運動に繋がる支援について －本人の希望を含めた実施を通して－

学籍番号 17cc11

学生氏名 樽松琴巳

I. はじめに

私は今回障害者支援施設で実習を行った。高齢者施設に比べ、幅広い年代の利用者と関わることができた。今まで高齢者と関わる機会が多かったため、30代の利用者の介護過程を展開したいと思いA様を担当させていただいた。A様には「外に出る」という希望がある。自力摂取量が日によって少ない日があり、車椅子での自走距離も短い日があるため、本人の希望を叶えると共に上肢の機能訓練を介護計画に取り入れ実施したため報告する。

II. 実習先種別・実習期間

実習先種別：障害者支援施設

実習期間：2018年6月25日～2018年7月27日（23日間）

III. 受け持ち利用者の紹介

氏名：A様 性別：女性 年齢：30代後半

介護が必要になった主な疾患・障害：脳性麻痺による上下肢機能障害

ADL：食事→自力摂取で6割ほど食べることができる。

移動→車椅子使用。自走可能。短い距離で疲れやすい。

排泄→洋式トイレで排泄。リフト使用。尿意あり。

IV. 介護の実際

1. 情報の解釈・関連づけ・統合

- ① 施設で生活しているため、外に出る機会が少ない。本人も外に出たいという希望がある。お花も好きで携帯に花の写真がたくさん入っていた。本人の好きなものや希望を日常生活に取り入れることによって、より有意義な生活を送れると考える。
- ② 施設の生活は毎日テレビやYoutubeを見るなどと画一化したものになっている。A様は食事の際に自力摂取量が日によっては少ない日があったり、車椅子自走も距離が短かったりする。そのため、本人の思いとしてプレスレットを作成したいという要望があったことから、作成することを上肢の運動と捉え、同時にA様に達成感を感じていただければと考える。

2. 介護上の課題：①本人の希望である「外に出る」という機会を設け、日常生活をより良く過ごす必要がある。

②本人の希望である「プレスレット作成」を通して上肢の機能訓練を行う必要がある。

3. 介護計画

長期目標：本人の希望に沿った生活を送ることができる。

短期目標：①散歩を行い、日常生活をより良く過ごすことができる。

②ブレスレット作成によって上肢の運動ができる。

→アルバムを作成し上肢の運動と共に散歩へ行った楽しい気持ちを施設内で感じることができる。

具体的援助内容

以下から、短期目標②について報告する。

余暇時間にブレスレットを作成する。→アルバム作成をする。

4. 実施及び結果

・余暇時間にブレスレットを作成する

7/15 本人の希望でもあったのでブレスレット作成に誘うと喜んでくださった。作成中にはできないと言われることもあったが、ビーズを一つひとつ入れるごとに「いい感じ」と満足そうにされていた。

・アルバムを作成する

7/18 積極的にデザインなどを考えてくださった。以前自分の名前しか書くことができないと言われていたが、それ以外も書くことができていた。A様には写真にのりをつける作業も行ってもらった。完成したアルバムをA様がめくることもでき、嬉しそうに眺めていた。

V. 考察

ブレスレット作成では手元の作業が多かったため、上肢の運動に繋げることは難しかった。アルバム作成ではブレスレット作成に比べ上肢を使うことができ、上肢の運動になり完成した。A様は達成感を感じたのではないだろうか。マズロー¹⁾は一般的な人間の欲求に関して「欲求階層説」を提唱している。欠乏欲求として、①生理的欲求、②安全欲求、③所属・愛情の欲求、④承認欲求がある。さらに成長欲求として⑤自己実現の欲求をあげている。今回の介護計画の実施の中でA様は、承認欲求と自己実現の欲求を達成することができたと考える。先天性の障害を抱える利用者でも欲求を達成することで、これからの生きる意欲に繋がると考える。

VI. おわりに

今回の実習およびケーススタディを通して、A様の希望を含めた上肢の運動に繋がる介護計画を立案、実施をすることができた。本人の希望も含めることで、より意欲的に取り組んでくださると学ぶことができた。そして、介護計画の実施を行ったことで、目標であった上肢の運動だけでなくA様の欲求にも繋げる事ができると学んだ。今回の学びを介護の現場で活かしていきたい。

引用・参考文献

1)介護福祉士養成講座編集委員会 (2015) 新・介護福祉士養成講座 4 介護の基本Ⅱ第3版 中央法規出版株式会社 p. 57